2回線用温度コントローラー(UTH-JPV2)

取扱説明書

・この度は、温度コントローラー(UTH-JPV2)をご購入頂き、誠に有難う御座います。

・この取扱説明書は、温度コントローラー(UTH-JPV2)の使用法・仕様の概要を説明したものです。

・ご使用になる前に必ずこの取扱説明書を御読み頂き、正しくご使用くださいますようお願い致します。

＜　使用上のご注意　＞

・この取扱説明書は、本製品をお使いになる方のお手元で必ず保管してください。
・この取扱説明書の内容を将来予告無しに変更することがあります。
・この取扱説明書の内容については、万全を期しておりますが、万一ご不明な点などがございましたら、
　当社までお申し出下さい。
・お客様が運用された結果につきましては、責任を負いかねる場合がございますのでご了承下さい。

安全上の注意

この注意事項は、製品を正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や損害を
未然に防止するためのものです。安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

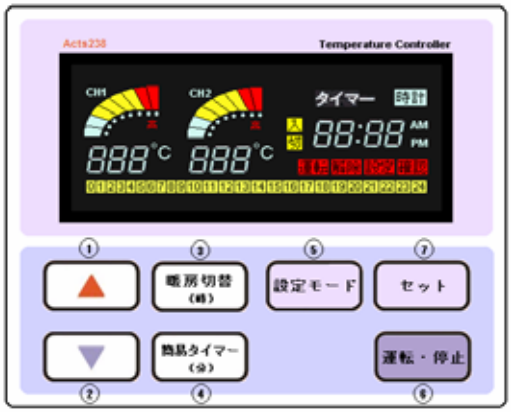
⚠	警告　人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
⚠	注意　人が障害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容。

⚠ 警 告	
!	本器の故障により温度の過度上昇が考えられる場合は、過昇温防止装置を併用するようにして下さい。
!	本器の取付け・取外しや結線のときは、電源を切った状態で行って下さい。感電の危険性があります。
!	本器は絶対に分解したり加工、改造、修理は行わないで下さい。 異常動作、感電、火災の危険性があります。
!	コントローラーへの電源接続は必ず、圧着端子をご使用下さい。 （電線を直接ネジで止めた場合は過熱の危険性あり！）

⚠ 注 意	
!	本器は床暖房用コントローラです。過昇温防止装置として使うことはおやめ下さい。
!	本器の電源は工事業者が用意したものを使用し、配線間違いや 電源電圧の間違いは十分注意し、通電前に必ずご確認下さい。
!	本器は電源遮断機を備えていません。必要な場合は外部に取りつけて下さい。
!	本器は仕様に定められた条件および環境（振動・温度・湿度など）の 範囲で使用保管して下さい。
!	床表面の温度が35℃以上になるような温度設定で長時間使用しないで下さい。 低温やけどや脱水症状になることがあります。
!	正しく温度制御を行うために、センサーの取付け位置・場所は適切にして下さい。
!	本器は可燃性、腐食性、爆発性のガスまたは蒸気のある場所では使用できません。
!	万一使用中に床温度が異常に熱くなったときはブレーカを切って電源を遮断し、 工事業者または相談窓口にご連絡下さい。
!	本器の表面の汚れがひどいときは、水にぬらしたやわらかい布を硬く絞って、軽くふき取って下さい。 洗剤及びシンナー・ベンジンなどではふかないで下さい。
!	長時間ご使用されない場合は、ブレーカを切って電源を遮断して下さい。

UTH-JPV2各部の名称と概要

■　コントローラー本体　各押ボタンについて



① 温度設定ボタン
設定温度を上げるときに使用します。

② 温度設定ボタン
設定温度を下げるときに使用します。

③ 暖房切替／時ボタン
＜暖房切替＞
押すごとに暖房チャンネルを切替えます。
(CH1→CH2→CH1・2→CH1順)
また、長押しすると「独立設定暖房」と「同時設定暖房」を切替えることができます。

＜時＞
時刻および予約タイマーの【時】を合わせるときに使用します。

④ 簡易タイマー／分ボタン
＜簡易タイマー＞
「簡易タイマー」は床暖房の電源をOFF(切)にする時間を設定する時に使用します。
「簡易タイマー」のボタンを押すと、30分単位で時間がプラスされます。
最長8時間まで設定が可能です。
電源OFFの10秒前にブザーが鳴り、停止のお知らせをします。
＜分＞
時刻および予約タイマーの【分】を合わせるときに使用します。

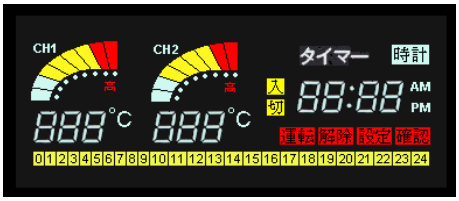
⑤ 設定モードボタン
「設定モード」ボタンを押すごとに【運転】→【解除】→【設定】→【確認】→【時計】の順に切り替わります。
必要な項目を選択してください。

⑥ 運転･停止ボタン
床暖房運転(入)、停止(切)を行います。

⑦ セットボタン (決定ボタン)
設定モードで設定した内容を確定(決定)します。

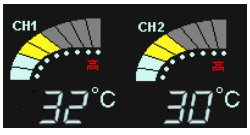
■　表示画面(VFD DISPLAY)

－　全体画面



－　部分画面の説明

①温度表示



運転中は設定温度と現在温度を数字とバー(8段階)で表示します。
現在温度のバーグラフは設定温度に達するまで点滅します。

②現在時刻表示

現在時刻を午前(AM)、午後(PM)にして表示します。

③予約タイマー 入時刻・切時刻表示

設定した予約時間のON時刻とOFF時刻の表示をします。
【入】は暖房開始時刻、【切】は暖房停止時刻を表示します。

④予約タイマー時刻表示

予約タイマー時刻の設定状況を24時間表示します。
黄色く点灯している時間帯に暖房運転が実施されます。

⑤選択中メニュー表示

－ 時計　現在時刻を合わせるときに設定します。

－ 運転　【通常運転】、【予約タイマー運転】のときに点灯します。

－ 解除　【予約タイマー運転】を解除するときに設定します。
（1回押すと一時解除されて【通常運転】に切り替わります。
長く押すと予約内容が完全解除（消去）されます。）

－ 設定　予約タイマー運転時間を設定するときに設定します。(1日最大5回まで)

－ 確認　予約タイマー運転時間を確認するときに設定します。

■　各部の操作について

1、時計を合わせる

2、温度を設定する

3、タイマー運転の操作

予約タイマー運転、簡易タイマー（切タイマー運転）の操作をします。

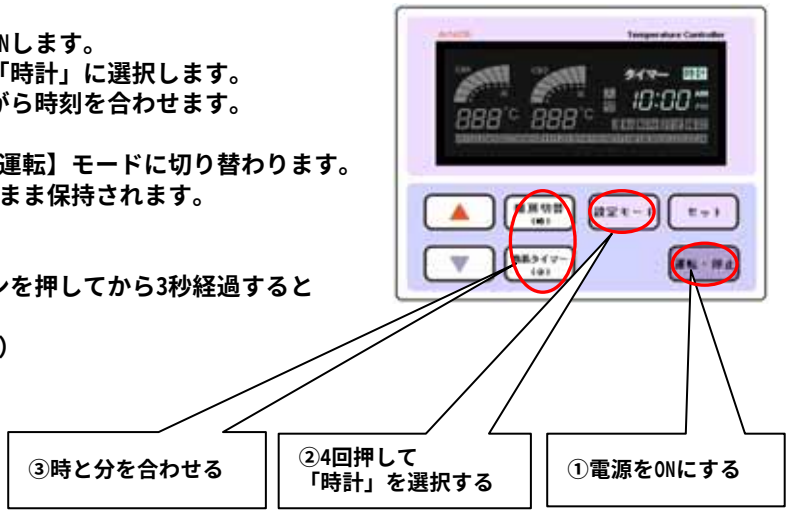
4、暖房範囲の切り替え

1、　時計を合わせる

初めてお使いになるときや長時間停電したとき、時刻が合っていない場合に時計を合わせて下さい。

①「運転・停止」ボタンを押し、電源をONします。
②「設定モード」ボタンを押して表示を「時計」に選択します。
③「時」ボタンと「分」ボタンを押しながら時刻を合わせます。
<例：午前１０時００分>
3秒後には自動的にセットされて【通常運転】モードに切り替わります。
電源をOFFにしても、時計の時刻はそのまま保持されます。

※ご注意
設定が終了していなくても、押しボタンを押してから3秒経過すると【通常運転】モードに　切り替わります。
（設定間隔は3秒以上あけないで下さい）



2、温度を設定する

床暖房の温度を数字と８段階のバーで表示をします。
数字とバーは温度を設定してから約３秒後に自動的に床暖房の現在温度の表示に切替わります。
この現在温度表示部は設定した温度に達するまで点滅します。

①「運転・停止」ボタンを押し、電源をONします。
（床暖房の現在温度が表示されます。）
②温度を「▲」「▼」ボタンで設定してください。
（例：設定温度32℃の場合）
※設定温度を確認するときは「▲」または「▼」のボタンを押すと設定温度表示に切替わります。

３、予約タイマー運転の操作

予約タイマー運転では、設定した時刻に暖房を運転し、また設定した時刻に暖房を停止します。

※タイマーを設定したとき、現在時刻が暖房運転時間内の場合は設定後すぐ暖房運転をします。

また、暖房運転が「切」状態の間はリモコンは待機状態となり、液晶画面の表示は残ります。

「運転・停止」ボタンを押して主電源を切った場合、タイマー運転は作動しません。

Ａ．タイマー運転する時間の設定

① 「設定モード」ボタンを押して「設定」を選択してください。

② 「セット」ボタンを押して決定します。
このとき‘入’が点滅します。

③ ‘入’が点滅している間に、暖房運転を開始したい時間に
「時」ボタンと「分」ボタンを押して設定してください。
(画像例：午後６時００分)

④ 「セット」ボタンを押して運転開始時刻を決定します。
このとき‘切’の表示が点滅します。

⑤ ‘切’が点滅している間に、暖房運転を終了したい時間に
「時」ボタンと「分」ボタンを押して設定してください。
(画像例：午前８時００分)

⑥ 「セット」ボタンを押して運転終了時刻を決定します。
このとき‘入’の表示が点滅します。
また、予約タイマー時刻表示部が点灯し、
暖房運転を実施する時間帯が黄色く表示されます。

⑦ ③～⑥の操作を繰り返すことで、５回までタイマー
入力ができます。

⑧ タイマー入力を完了するときや途中で終了するときは、
もう一度セットボタンを押し、「--：--」の表示を
してください。
「--：--」表示が３回点滅して、タイマー設定が終了します。

B．予約タイマー運転の解除

【予約タイマー運転】を【通常運転】に変更する場合は、「設定モード」を「解除」に設定して下さい。

①「設定モード」ボタンを押して「解除」を選択します。
②「セット」ボタンを押して決定します。
【予約タイマー運転】が【一時解除】されて、
【通常運転】に切り替わり、＇入＇、＇切＇の表示と
＇予約タイマー時刻表示部＇が消灯します。
また、＇時刻表示部＇には現在時刻が表示されます。
（例：午前７時３０分）

タイマー内容はそのまま記憶されていますので、再びタイマー運転に戻ると記憶された内容のままタイマー運転を開始します。
この【一時解除】から【タイマー運転】に戻るときには、電源をOFF・ONするか、もしくは再び「解除」を選択・決定すると、切り替えることができます。
タイマー運転に戻ると、＇予約タイマー時刻表示部＇が点灯します。

※　予約内容を完全に解除する場合には、「設定モード」で「解除」を選択し、次に「セット」ボタンを３秒間長く押すと
‘ピー＇という音とともに完全に解除されます。
その後、【通常運転】モードに戻ります。

C．予約タイマー設定状況の確認

予約タイマー時刻を確認する場合は、「設定モード」を「確認」に設定し、内容を確認して下さい。

①「設定モード」ボタンを押して「確認」を選択します。

②「セット」ボタンを押して決定してください。

すると、‘入＇の文字が点滅します。

時刻表示部には記憶されている運転開始時刻が表示されます。

③もう一度「セット」ボタンを押すと、記憶されている運転

終了時刻が表示され、‘切＇の文字が点滅します。

④さらに、もう一度セットボタンを押すと、記憶されている

２回目の運転開始時刻表示されます。

⑤「セット」ボタンを繰り返し押すことで、３回目、４回目と

設定した運転開始時刻・運転終了時刻が順番に表示されます。

それ以降のタイマーが設定されてないと、‘--:--＇の

表示が３回点滅して「確認」のモードが終了し、「運転」

モードに戻ります。

Ｄ．簡易タイマー運転（切タイマー）

簡易タイマーは床暖房の電源をOFFにする時間を設定する時に使用します。

「簡易タイマー」のボタンを1回押すと、30分単位で時間がプラスされ、

カウントダウンが開始されます。最長は8時間まで設定可能です。

・簡易タイマー運転中には暖房範囲の切替と温度調整ができます。

・簡易タイマーの動作は予約タイマーの動作より優先されます。

・予約タイマーで運転が停止している状態でも、簡易タイマーを設定
　すると現在表示されているチャンネルの床暖房の運転が再度開始され、
　簡易タイマーで設定した時間後に電源OFFとなります。

・簡易タイマーでの運転終了は主電源がOFFになりますので、それ以降の
　予約タイマーで設定した運転開始時間には床暖房の運転は開始されません。

・電源OFFの10秒前にブザーが鳴り、停止のお知らせをします。

（30分→1時間→1時間30分→　・・・　8時間→現在時刻）

①運転したい時間を設定してください。

①「簡易タイマー」ボタンを押して、運転したい時間を
　設定します。
　例）4：30　に設定すると、
　　設定した時間から4時間30分後に主電源がOFFになります。

②「簡易タイマー」を解除し、再び【通常運転】に戻りたい場合、
　「運転・停止」ボタンを押して、一旦電源をOFFしてから再度
　電源をONにしてください。
　この場合、予約タイマーで設定した時間は記憶されていますので、
　予約タイマーを設定していた場合は、【タイマー運転】へと
　移行します。

４、暖房範囲の切替

暖房範囲の切替は配線回路で２ヶ所に分けているCH1とCH2を

順に切替えて、暖房実施範囲を切り替えることができます。

「暖房切替」のボタンを押すことで、下記の順に切替わります。

暖房が実施されている側のCHのみ、温度設定表示が点灯します。

簡易タイマー運転中にも操作可能です。

押すごとに範囲が切り替わります。

＜切替え動作順＞

CH1のみ　→　CH2のみ　→　CH1・CH2両方　→　CH1のみ　…

暖房が実施されている側のCHのみ、温度設定表示が点灯します。

５、同時設定暖房　と　個別設定暖房　の切替

「暖房切替」ボタンを約３秒間長押しすることで、交互に切り替えます。

※現在の運転状況は【CH1】【CH2】の点灯状態で見分けてください。

Ａ．同時設定暖房　　→【CH1】と【CH2】が常に点灯します。

同時設定暖房とは、温度設定や予約タイマー設定を1CHと2CHで共有することです。

例えば、1CHのみ運転中に「暖房切替」ボタンを押すと、

暖房実施範囲を2CHのみに切り替えることができますが、

温度設定や予約タイマー設定は1CH運転中に設定したものが引き継がれます。

Ｂ．独立設定暖房　　→【CH1】と【CH2】が交互に点滅します。

独立設定暖房では、チャンネルごとに温度や予約タイマーを設定できます。

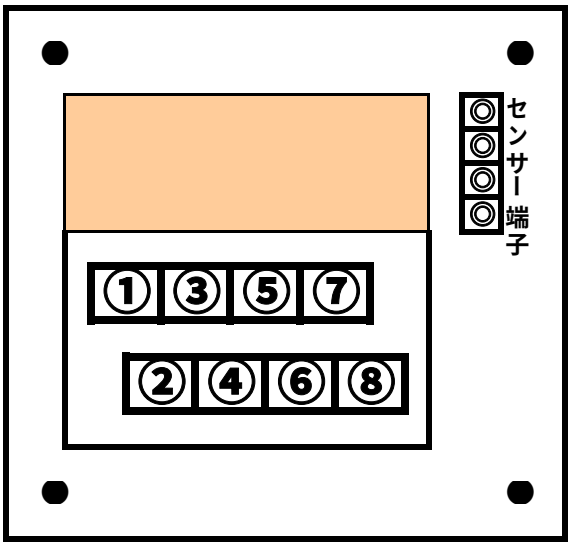
例えば、1CHのみ運転中に「暖房切替」ボタンを押すと、

暖房実施範囲を2CHのみに切り替えることができ、

2CHのみの独立した温度設定やタイマー設定の操作が可能になります。

①「暖房切替」ボタンを長押しして【独立設定暖房】に切替えます。
②丸印の【CH1】と【CH2】の表示が交互に点滅します。
③もう一度「暖房切替」ボタンを押すと、
　【CH1】のみの運転が選択された状態になります（CH2側は消灯）
④この状態で温度設定やタイマー操作を行うと、
　【CH1】のみに独立した温度設定・タイマー設定を行うことができます。
⑤さらにもう一度「暖房切替」ボタンを押すことで、
　【CH2】のみの運転が選択された状態になり（CH1側は消灯）、
　【CH2】のみに独立した温度設定・タイマー設定を行うことができます。
⑥【CH1】【CH2】両方の運転に切り替えた場合でも、
　この個別に設定した温度設定・タイマー設定を維持することができます。
⑦もう一度「暖房切替」ボタンを長押しすることで、
　【同時設定暖房】に切り替えることができます。

５、配線図



● 電源＝1回路目　①と②に接続、
　　2回路目　⑤と⑥に接続

● 床暖房回路･1回路目＝③と④に接続
　床暖房回路･2回路目＝⑦と⑧に接続
　（コントロールで電源を入･切します）

● 温度センサー端子･1回路目＝右上の端子
　（上側から1番目と2番目に接続する）
　温度センサー端子･2回路目＝右上の端子
　（上側から3番目と4番目に接続する）

※ 電源AC100V/AC200V　各回路は12Aまで

※ 機器の接続は必ず圧着端子をご使用下さい。

仕様/ SPECIFICATIONS

区分	項目		UTH-JPV2 特長
定格	定格入力電圧		85V AC ～ 265V AC
	周波数		50Hz / 60Hz
	駆動方式		電子式
	消費電力		約2.75W
	負荷	回路数	2回路
		最大容量	1ch:12A , 2ch:12A (抵抗性負荷)
		出力電圧	85V AC ～ 265V AC (入力電圧と同一)
		出力形式	DPDT有電圧リレー接点出力(両切り)
表示画面	ディスプレー		VFD (Vacuum Fluorescent Display)
精密度	時間精密度		週間最大偏差 +/- 1分 (0℃～30℃)
	温度精密度		+/-1℃:30秒当り1℃変化条件 (delay option 20SEC.)
	接点方式		Relay (Matsushita: ALF1P12)
	接点定格容量		16A, 250V AC (抵抗性負荷)1回路当り
	定格寿命（電気的）		10万回以上 250VAC, 16A (抵抗性負荷時) 1回路当り
センサー	種類		NTC: Negative Temperature Coefficient
	精密度		1%
	25℃の定格抵抗		5,000ohm, Beta constant =4,000 ° K
	数量		CH1, CH2:温度感知用
機能 (性能)	安全装置	センサー線の断線、ショート	断線の場合 EO(error open),ショートの場合 ES(error short) 負荷の電源供給は自動に遮断。
		過熱防止センサー (コントローラの内部)	コントローラ内部の温度上昇を点検して内部温度が80℃になると電源が遮断されてブザーが鳴る。 *手動復帰型で電源をoff/onして下さい。
		ヒューズ用抵抗	10ohm (コントローラ内部の回路保護用)
		絶縁紙	nomex aramid paper 7-mils type 410
	タイマー	予約回数	最大5回貯蔵/1日 (1回=ON/OFFを1周期にする)
		時間設定単位	1分
	簡易タイマー		30分単位にして8時間まで設定可能。(カウントダウン方式)
	ON/OFF	温度差の調節	現在温度と設定温度の比較によりON/OFFされる。
		時間周期の調節	設定した時間周期によりON/OFFされる。(1～60分 調整)
その他	外部ケース		ABS VH810 UL94 V-0 (難燃性)
	重さ		300g
	寸法		115(W) × 115(H) × 48(D)
	使用条件	気温・湿度	0℃ ～ 40℃、85%以下

保 証 書

＜品 名 及 び 品 番＞

2回線用温度コントローラー (UTH-JPV2)

＜保 証 期 間＞

お買上げ日より2年間 (但し下記の条件の場合)

正しく、ご使用頂いた場合のメーカー不良に限る

＜ご購入日＞

年 月 日

＜ご購入者名＞

＜販売店＞

製造元：ウリエル電子株式会社